

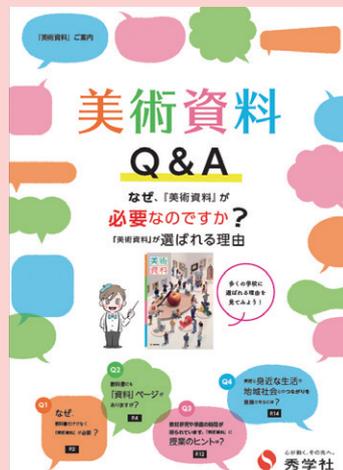
『美術資料』が選ばれ続ける理由をご紹介します!

今号は『美術資料』の採用理由についての特集です。初めてご採用いただいた先生から長年お使いの先生まで、さまざまなご意見をいただき、その一部をご紹介します。

今後の授業における『美術資料』の具体的な使い方や指導のコツ、次年度の授業計画などにお役立てください。

▶美術資料 Q&A ご案内

“なぜ『美術資料』が必要なのか?” そういった先生方からの疑問にもお答えしています。あわせてこちらもぜひご覧ください。



VOICE 1

教科書とあわせて使うことでより充実した授業に!

教科書と『美術資料』とでは、使う目的や内容が異なるので、ふたつをあわせて使うことで、より充実した授業を行うことができます。

『美術資料』には教科書にはない技法や作品、知識が紹介されているので、授業をするうえで欠かせない存在ですね。



生徒の「もっと知りたい」に応えてくれる!

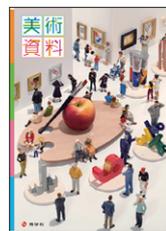
教科書

美術

授業の骨格

各題材は、主題の生成、豊かな発想・構想、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めるなどといった授業の目標に沿う。

『美術資料』



肉付けの役割

多様な材料や用具を使った表現の技法、幅広い鑑賞図版、関連する知識などといった教科書の題材の目標を実現するための手段や方法を紹介。

VOICE 2

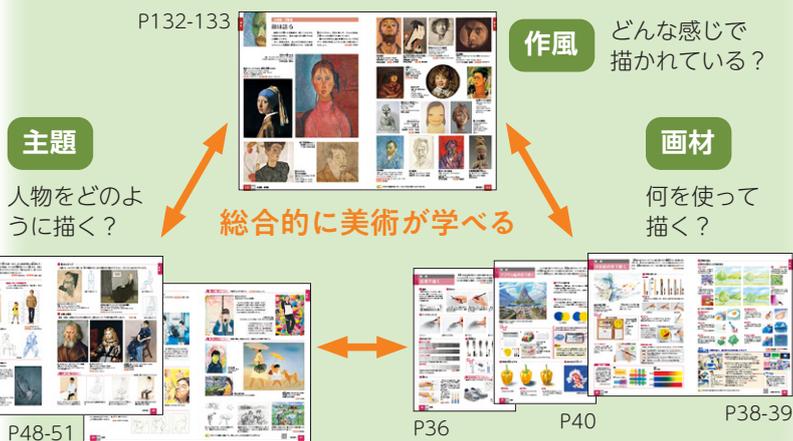
より発展した授業をしたい先生にとっての補助資料に!

授業中、教科書よりももっと多くの参考図版を生徒に見せてあげたい!という時に、『美術資料』の事典的な資料がとても役に立ちます。また、生徒の主題の生成のみならず、表現の工夫や意図、制作する上での画材の扱いなどの補助資料としても助かっています。



授業でよく取り組む題材が、さらに広がる!

豊富で幅広い資料



※「人物を描く」という題材に沿った活用例。

VOICE 3

授業に役立つ資料を組みあわせて、授業準備の短時間に!

『美術資料』では、**すぐに授業に生かせる内容が充実。**
新任や非常勤講師の先生にとっても、役立ちます!非常勤講師なので、教材研究や授業準備の時間が限られています。
比較的少ない単位時間でも、『美術資料』は、生徒の学びが身に付くような手助けを担ってくれています。

●テストなどの学びの確認として

「注意」や「制作メモ」「コラム」など、ポイントを整理しているので、先生の問題作成や生徒のテスト対策につながる。



●短時間題材と指導案

題材「短時間でつくる」の指導案を充実させました!



●ワークシート

- 無料ダウンロード版 (28 枚)
- 『美術資料活用のためのワークシート集』(有料版、18 枚)



▲無料版はコチラ

自習課題や
自宅学習にも!

VOICE 4

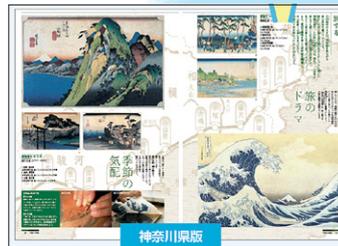
身近な生活の中に美術の働きを感じてほしい!

『美術資料』には、**生活における美術**のページや都道府県ごとに特色のある**県版資料**があります。暮らしのデザイン
を知るきっかけに!生徒には**美術と生活とのつながり**を強く感じられるよう、身近な例題やテーマを提示してあげたいと考えています。

「このロゴは何の会社のものでしょう?」などといった発問から、身近なものに目を向けるきっかけをつくることができます。

また、**地域の伝統や文化の復興**などを取りあげた**県版資料**は自分の住む地域のことを深く学ばせるのに役立ちます。

県版資料

各地の先生方とともにつくりあげた、生徒のための、ほかに代えがたい貴重な教育資料です。
郷土の美術文化をはじめ、自分の地域を知ることが大きな学びとなります。

※県版資料がない地域もあります。

秀学社の美術学習サポート

授業だけでなく家庭学習などにもご活用ください。

- 『美術資料』の詳細や、ワークシートなど各種ダウンロード資料を提供しています。

秀学社Webサイト
<https://www.shugakusha.co.jp/>

まなび! net へのご意見や著者へのメッセージ、ご質問など、「お問い合わせフォーム」よりお気軽にお寄せください。

お問い合わせフォーム **ココから!**
https://www.shugakusha.co.jp/form_otoiawase/

先生の声をお聞かせください。

